

院内デイサービス “お昼の会” について

院内デイサービスとは、入院している高齢者で睡眠・覚醒の乱れや認知症による混乱、せん妄等の症状がある方を対象として、デイサービス施設で行われているような活動を通して、生活リズムを整えます。

具体的には、体操や歌唱、ゲーム等を行い、他の参加者の方や職員と過ごしながら、気分がリフレッシュできる時間を提供しています。

◎目的

- ・早期退院に向け、生活リズムを整える
- ・病棟スタッフの業務負担を軽減する

◎実施場所

- ・精神科作業療法室

◎開催日

- ・毎週月曜日・木曜日 13時30分～15時

◎スタッフ

- ・認知症サポートチーム1名、介護士2名

◎内容

- ・自己紹介
- ・リアリティーオリエンテーション
- ・回想法
- ・ラジオ体操
- ・風船バレー
- ・ボーリング
- ・歌唱
- ・ティータイム等



Aさんのケース： 廃用症候群の防止

くも膜下出血術後入院 4ヶ月後から院内デイサービス利用

初日はのけぞるような姿勢で参加されていた。徐々にマイクを持って歌詞カードをみながら歌えるようになった。

風船バレーでは、他の参加者から「おばしゃん、ほら、風船来たよ」と声をかけられながら、笑顔で交流されるようになった。

Bさんのケース： せん妄の改善

乳癌術後、腰椎圧迫骨折後自宅療養中に倒れ入院

入院6日目、痛みや尿路感染によりせん妄発症、9日目から院内デイサービス利用

初日は「痛い」「寝たい」「トイレに行きたい」と言われながらもなんとか参加された。また、痛みで畳に横になりながら参加されることもあった。

歌うのを楽しみに12回参加され、日常生活リズムが整い、せん妄が改善した。

